



since1924

ようこそ 葦水会 へ

- 第 1 令和 3 年 1 2 月 9 日 第 3 8 号「葦水会報」の概要
- 第 2 近年の葦水会総会の開催状況
- 第 3 葦水会の生い立ち
- 第 4 学校法人の沿革
- 第 5 周年記念式典年月日
- 第 6 学校の沿革
- 第 7 淀之水学院 葦水会役員名簿
- 第 8 淀之水学院 葦水会々則
- 第 9 淀之水学院 葦水会 近年の年度別決算状況
- 第10 淀之水学院 葦水会 近年の決算報告書
- 第11 令和元年 9 月 3 0 日 第 3 6 号「葦水会報」ご挨拶 学校長(名誉会長)
- 第12 令和 2 年 1 0 月 1 日 第 3 7 号「葦水会報」ご挨拶 学校長(名誉会長)

2022.6.3

淀之水学院 葦水会

大阪市此花区朝日一丁目 1 番 9 号
学校法人淀之水学院 昇陽高等学校内
06-6461-0091

第1 最新版 令和3年12月9日 第38号「葦水会報」の概要

第38号

令和3年12月9日

葦水会報

編集
発行

淀之水学院葦水会

〒554-0011 大阪市此花区朝日1-1-9
TEL.06-6461-0091

目次

編集室より	1
ご挨拶 理事長・校長 竹下 健治	2
ご挨拶 葦水会会長 中條 伊代子	3
福祉科より・総会中止のおしらせ	3
先生方のたより	4
(松本 和世・加藤 亜由美・玉城 愛・林 葵)	
恩師からのたより	5
(藤原 真生・野中 雄太)	
新任教諭からのメッセージ	6
令和2年・3年度 葦水会決算・予算	7
主な進学先・就職先のご紹介	7
クラブ活動報告	8



編集室より

このたび、葦水会の会報編集長に任命されました松本和世です。これまで葦水会においては先輩方に任せきりでしたので、これを機会に少しでも葦水会の活性化に尽力できればと考えています。また私は卒業生で本校教員でもあるため、今の学校について皆さんにお届けしたいと思えます。つきましては、毎回投稿させていただきます。葦水会報を充実していくためにも多くの皆さんに寄稿いただけたら幸いです。

何分、力不足で至らぬ点もあるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻ならびにご協力の程よろしく申し上げます。



葦水会報

ご挨拶



理事長・校長 竹下 健治



歳晩の候、葦水会の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育活動に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本年度もコロナ禍で学校が始まりました。東京オリンピックが開催された夏になっても、変異株の流行で感染者数が増加し、8月2日より緊急事態宣言が出されました。このパンデミックの出口は未だ見えておらず、この2年間で多くの就業者が休業に追い込まれるなど、日本の社会が大きく動揺しています。葦水会の皆様には、影響なく平穏であられることを願っております。ただ、うれしいニュースもあります。

東京オリンピックにおいて、本校卒業生で卓球日本代表の伊藤美誠さんが卓球混合ダブルス、団体、シングルスでそれぞれ金、銀、銅のメダルを獲得しました。卓球は多くの種目の中でも注目されており、プレッシャーもあったと思いますが見事メダルを獲得しました。このメダル獲得で日本の選手団も勇気づけられ、メダルラッシュにつながったと思われます。伊藤さん、本当におめでとうございます。

また、本校卒業生である小説家の田辺聖子さんの18歳当時の日記が発見され、その内容が文藝春秋に掲載されました。本校としても大変誇らしいことです。当時、田辺さんは樟蔭女子専門学校に進学されていましたが、在校中から終戦（1945年）までの日記が書かれています。18歳の日記ですが、そこにはもうすでに小説家「田辺聖子」の筆致が垣間見られ、特に大阪大空襲の場面は迫力があります。やはり、天賦の才能があったのだと感心させられます。

せられます。

さて、本校の教育活動ですが、このコロナ禍で学校行事や部活動において変更・縮小が余儀なくされました。しかし、生徒たちは健気に前向きに頑張っております。令和3年度新入学生は、中学校30名および高等学校319名です。高等学校はこの3年間着実に増加し、学校が活性化し、日々変化しています。その変化のひとつが、新設されたコースである進学Ⅲコース（文武両道）やITフロンティアコースの活性化です。進学Ⅲコースは、勉強と部活動などの両立を目ざし、土曜日も含めて週3日は昼から専攻スポーツで汗を流し、週2日は7・8限まで授業・講習を行うなどメリハリの利いたカリキュラムとなっています。昼休み後、城山キャンパスに移動する生徒たちは、洗濯とバスに乗り込み出発しています。また、ITフロンティアコースは、情報化社会に対応すべく、4分野（メディア、プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、Eスポーツ）に分かれ、ITスキルの向上に研鑽しています。ドローンを飛ばしたり、Eスポーツに熱中したり楽しく学んでいます。

他の変化には、「正門一礼」の励行があります。この「正門一礼」は特定の人物や対象に礼をするのではなく、

生徒たちが自分の学び舎に敬意をもって、そして自分の気持ちを整えるために、正門で一礼を行うものです。生徒たちも、その趣旨を理解した上で、さわやかに正門一礼を行っています。地域の方々からも、「昇陽は変わった。」と喜んでいただいております。

部活動においても、部活動加入率が上がり全体的に活発になる中、特に中学校ソフトテニス部や中学校バレーボール部など全国大会で健闘しました。これら学校の状況は、できるだけホームページに掲載しています。お時間があれば、閲覧していただければ幸いです。

これからは昇陽中学校・高等学校は勉強や部活動や教育活動で飛躍を遂げると思われます。そのような中、本校は令和6年度に創立100周年を迎えます。大阪の伝統ある私学として、来るべき創立100周年は充実した内容で開催したいと思えます。葦水会の皆様にもご理解をいただき、これからもご支援ご協力をお願いしたいと思います。最後になりますが、葦水会の皆様におかれましては、コロナ禍の中ご自愛いただくようお願いいたします。



お元気でいて下さいね

葦水会会長 中條 伊代子



葦水会の皆様、お健やかに過ごしていらしゃいますか。

日頃より、理事長・学校長様はじめ教職員の皆様、昇陽会・保護者会の皆様、葦水会の活動に御指導・御支援をたまりまして厚く御礼申し上げます。

どの年も変わる事なく一日・一ヶ月・一年と同じ長さの時間が流れていきます。とても長く感じる一日もあつという間に過ぎる一日も同じ一日ですが今迄の普通の一日の暮らしとあたりまえが、あたりまえでは無くなった二〇二〇年・二〇二一年で日々の生活を考えさせられる二年ではなかったでしょうか。

本年度卒業の新入会の皆様、ようこそ葦水会へ。母校全体の同窓会である本会は懐かしい友と先生方との出会いの場として年代を越えた友との一年に一度の近況のお知らせや卒業後の学校の様子を会報にてお届けしております。また、総会は色々な想いを込めまして開催しております。

今年度より編集委員会の組織化と連携を図り会報の充実、そして多数の卒業生の皆様よりの投稿・グループ集いの様子など近況報告を掲載したいと思っております。なお、会報編集委員会のリーダーとして本校の卒業生で昇陽高校の教師として勤務されております松本和世先生にお願いいたしました。

長い歴史と伝統ある我が母校は二〇二四年十月には一〇〇周年を迎えます。一〇〇周年に向けて記念事業等準備も開始されました。私達卒業生共々ママスコットキャラクターの大募集中で親しみあるキャラクターの応募を心よりお待ちしております。

母校は正門からエントランス・事務室等新しく生まれ変わりました。「感謝のこころ」の教えが身につくように正門一礼の立札が目に入ります。とても爽やかな気分になる日々でございます。

葦水会は二年の間総会開催も実施出来ず淋しい日々でした。それでも季節はめぐり清らかにさし込む日が光る冷たい風に新しい年が近づいている日常を身体で感じます。人の命や暮らしの命、平和に暮らせる事の幸せについて深く考えた年でした。

総会でお逢い出来ますことを楽しみにしております。葦水会の皆様、どうぞ元気でいて下さいね。

福祉科より

昇陽高等学校福祉科室長の磯崎です。現在福祉科は福祉コース・保育コースの2コースになっています。看護コースは現在、普通科になり看護医療系進学コースとして進学に力を入れていきます。

今回、福祉コースに在籍していた過去5年について追跡調査を行いましたと思っております。卒業後5年以内の卒業生については：

- ・ 卒業年
- ・ 名前
- ※結婚等により変わっている場合は前苗字もお願いいたします。

・ 現在の状況・大学等在籍もしくは就職先

※会社等はフルネームでお願いします。

・ 卒業後の国家試験と合格の有無、合格年

を返信用ハガキに書いていただき返答していただければと思います。よろしくお願いいたします。

このコロナの影響により大変苦労していることがあると思っております。お体に気を付けて頑張ってくれていることを願っています。

お知らせ

令和3年度葦水会総会
 ● 新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止とさせていただきます。
 ● 令和4年度は10月16日(日)を予定しております。
 ● たくさんの方のご参加、心よりお待ちしております。

恩師
鶴巻先生を偲んで

本年九月十三日
 鶴巻榮二先生が八十三歳でご他界されました。ご生前には長い間、私達沢山の生徒をご指導下さいました。また、葦水会を見守り下さり、心より感謝申し上げます。

ここに謹んで心よりご冥福をお祈り致します。
 先生、ありがとうございます。

合掌

第2 近年の葦水会総会の開催状況

平成27年度 葦水会総会記録	
総会日時	平成27年(2015年)10月18日(日)午前11時～午後2時
場所	大阪市此花区朝日1丁目1番9号 学校法人淀之水学院 昇陽高等学校
第1部	第1号議案決議事項 平成26年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 平成27年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選 (会長・副会長・会計・会計監査)
第2部	交流会 5千円 (但し本年卒業生は無料)
	卒業生100人と役員が参加

平成28年度 葦水会総会記録	
総会日時	平成28年(2016年)10月16日(日)午前11時30分～午後2時
場所	大阪市中央区淡路町3丁目6-3御堂筋MTRビル1F ミートダイニング リバーベ
第1部	第1号議案決議事項 平成27年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 平成28年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選 (会長・副会長・会計・会計監査)
第2部	交流会 5千円 (但し本年卒業生は無料)
	卒業生100人と役員が参加

平成29年度 葦水会総会記録	
総会日時	平成29年(2017年)10月15日(日)午前11時30分～午後2時
場所	大阪市中央区淡路町3丁目6-3御堂筋MTRビル1F ミートダイニング リバーベ
第1部	第1号議案決議事項 平成28年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 平成29年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選 (会長・副会長・会計・会計監査)
第2部	交流会 5千円 (但し本年卒業生は無料)
	卒業生100人と役員が参加

平成30年度 葦水会総会記録	
総会日時	平成30年(2018年)10月15日(日)午前11時30分～午後2時
場所	大阪市中央区淡路町3丁目6-3御堂筋MTRビル1F ミートダイニング リバーベ
第1部	第1号議案決議事項 平成29年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 平成30年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選 (会長・副会長・会計・会計監査)
第2部	交流会 5千円 (但し本年卒業生は無料)
	卒業生100人と役員が参加

令和元年度 葦水会総会記録	
総会日時	令和元年（2019年）10月20日（日）午前11時30分～午後2時
場所	大阪市中央区淡路町3丁目6-3御堂筋MTRビル1F ミートダイニング リバーベ
第1部	第1号議案決議事項 平成30年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 令和元年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選（会長・副会長・会計・会計監査）
第2部	交流会 5千円（但し本年卒業生は無料）
	卒業生100人と役員が参加

令和2年度 葦水会総会記録	
総会日時	令和2年（2020年）10月18日（日）午前11時30分～午後2時
場所	大阪市中央区淡路町3丁目6-3御堂筋MTRビル1F ミートダイニング リバーベ
第1部	第1号議案決議事項 令和元年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 令和2年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選（会長・副会長・会計・会計監査）
第2部	交流会 5千円（但し本年卒業生は無料）

但し、新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止。

令和3年度 葦水会総会記録	
総会日時	令和3年（2021年）10月17日（日）午前11時30分～午後2時
場所	大阪市中央区淡路町3丁目6-3御堂筋MTRビル1F ミートダイニング リバーベ
第1部	第1号議案決議事項 令和2年度事業報告 及び 決算の件
	第2号議案決議事項 令和3年度事業案 及び 予算の件
	第3号議案決議事項 役員改選（会長・副会長・会計・会計監査）
第2部	交流会 5千円（但し本年卒業生は無料）

但し、新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止。

令和4年度 葦水会総会予定	
総会日時	令和4年（2022年）10月16日（日）

第3 葦水会の生い立ち

1927年3月23日	昭和2年3月23日	第1回卒業式 22名卒業
1940年10月	昭和15年10月	葦水会の結成 それまでの名称は同窓会です
1941年5月18日	昭和16年5月18日	葦水会として第1回総会開催

第4 学校法人の沿革

1924年3月27日	大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立
1925年2月21日	大正14年2月21日	高等女学校令による「淀之水高等女学校」として設立を認可され大阪市此花区西島町に校地を移転
1944年5月2日	昭和19年5月2日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記
1951年3月8日	昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等女学校を学校法人淀之水学院に組織変更の認可

第5 周年記念式典年月日

1965年5月26日	昭和40年5月26日	創立40周年記念式典を挙行。
1974年10月23日	昭和49年10月23日	創立50周年記念式典を挙行。
1984年10月27日	昭和59年10月27日	創立60周年記念式典を挙行。
1994年11月18日	平成6年11月18日	創立70周年記念式典を挙行。
2004年12月1日	平成16年12月1日	創立80周年記念式典を挙行。
2014年10月29日	平成26年10月29日	創立90周年記念式典を挙行。
2024年10月	令和6年10月	創立100周年記念式典を挙行予定。

第6 学校の沿革

大正 13 年 3 月 27 日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「 淀之水女学校 」設立 創立者吉川竹三郎
大正 14 年 2 月 21 日	高等女学校令による「 淀之水高等女学校 」設立認可され大阪市此花区西島町に校地を移転
昭和 19 年 5 月 2 日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任
昭和 23 年 4 月 1 日	大阪府知事より「 淀之水高等学校 」設立を認可
昭和 24 年 4 月 1 日	現在地（元 大阪市此花区嬉ヶ崎町一番地）に新校舎完成移転
昭和 26 年 3 月 8 日	財団法人淀之水高等学校を「学校法人淀之水学院」に組織変更認可
昭和 43 年 4 月 1 日	商業科を設置
平成 6 年 4 月 1 日	普通科に普通コース・英語コース、商業科に商業コース・情報コースを設置
平成 11 年 4 月 1 日	福祉科を設置
平成 16 年 4 月 1 日	商業科の募集停止
平成 16 年 4 月 1 日	普通科に総合(進学・一般)コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コースを設置
平成 17 年 4 月 1 日	普通科に特進・国際コース・標準コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置
平成 19 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・標準コース・パティシエコースを設置
平成 20 年 6 月 30 日	大阪府から城山キャンパスグラウンドの土地 9,255 m ² を購入
平成 21 年 4 月 1 日	大阪府知事より淀之水学院昇陽中学校設立を認可され開校
平成 22 年 4 月 1 日	学校名を 昇陽中学校 、 昇陽高等学校 に変更
平成 22 年 4 月 1 日	普通科の特進・標準(進学)コースのみ男女共学
平成 23 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・パティシエコース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置
平成 23 年 4 月 1 日	大阪府から城山キャンパス体育館・校舎の土地 20,109 m ² を購入
平成 24 年 4 月 1 日	高校全コース男女共学
平成 27 年 3 月 30 日	東館(3,587 m ²)竣工
平成 27 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置
令和 2 年 1 月 30 日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656 m ²
令和 2 年 4 月 1 日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200 m ²
令和 2 年 4 月 1 日	普通科にITフロンティアコース、進学II・IIIを設置
令和 2 年 12 月 16 日	南西館耐震改修工事完了
令和 3 年 1 月 22 日	城山体育館耐震改修工事完了
令和 6 年 10 月	淀之水学院 創立 100 周年記念式典挙行予定

第7 淀之水学院 葦水会 役員名簿

(名誉会長・名誉副会長以外は、少し前のものです。)

役名	氏名	備考	役名	氏名	備考
名誉会長	竹下 健治	現校長	常任幹事 4期	牧 アサ	
名誉副会長	吉川 今日子	現教頭	常任幹事 10期	島谷 千代子	
名誉会員	杉本 智子		常任幹事 12期	淵田 ヨシノ	
名誉会員	鳶 喜代子		常任幹事 14期	富田 彰子	
名誉会員	楠本 延子		常任幹事 16期	三枝 ゆり	
会長	中條 伊代子		常任幹事 18期	那須 タツ子	
副会長	那須 タツ子		常任幹事高 2期	中田 照子	
副会長	久保 一枝		常任幹事高 5期	物部 千賀子	
副会長	山田 紀久子		常任幹事高 7期	吉見 千里	
副会長	吉野 節子		常任幹事高 8期	高橋 洋子	
会計	木田 陽子		常任幹事高 9期	石崎 早苗	
会計	森 和美		常任幹事高 10期	大工原 和子	
会計監査	参河 正太		常任幹事高 11期	田中 幸栄	
会計監査	久野 久恵		常任幹事高 12期	鶴巻 寿子	
			常任幹事高 14期	宇野 信子	
			常任幹事高 16期	吉田 純子	
			常任幹事高 18期	井村 裕子	
			常任幹事高 19期	三木 洋子	
			常任幹事高 21期	津田 須美枝	
			常任幹事高 22期	田中 節子	
			常任幹事高 23期	鑄物 久美子	
			常任幹事高 24期	宮地 加代子	
			常任幹事高 25期	溝上 治美	
			常任幹事高 26期	久保田 敏子	

第8 淀之水学院 葦水会々則

(名 称)

第 1 条 本会は「淀之水学院葦水会」と称する。

事務所を母校の学校法人淀之水学院昇陽高等学校内（大阪市此花区朝日一丁目1番9号）に置く。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の親睦と修養とを計り兼て母校発展の為に尽力し進んで社会公共の為に寄与することを目的とする。

(会 員)

第 3 条 本会会員を下の二種とする。

1. 特別会員 淀之水学院現職員及び旧職員

1. 正 会 員 淀之水学院卒業生及びかつて在学していた者で役員会の承認を得た者

(役 員)

第 4 条

1. 名誉会長 1 名 母校々長を推す。

2. 名誉副会長 1 名 母校教頭を推す。

3. 会 長 1 名 正会員より選出する。

4. 副会長 4 名 上に同じ。

5. 会 計 2 名 上に同じ。(但し1名は母校職員に委嘱する)

6. 会計監査 2 名 正会員より選出する。

7. 参 与 若干名 母校職員に委嘱する。

8. 常任幹事 各期ごと1名選出する。

9. 幹 事 正会員中より選出する。

10. 相談役 会長が指名する。

第 5 条 役員任期は2ヶ年として重任を妨げず。

役員任期は下の通りとする。

1. 会長は本会を統轄する。

2. 副会長は会長を補佐し会長事故あるときはその職務を代行する。

3. 会計は本会の会計を掌る。

4. 会計監査は本会の会計監査を行う。

5. 参与は本会会務に参与する。

6. 幹事は本会会務を分掌する。

7. 相談役は会長の諮問に応ずる。

第 6 条 本会に顧問若干名を置くことができる。

(総 会)

第 7 条 総会は毎年1回10月の第4日曜日に之を開く。

但し必要により臨時総会を開くことができる。

(会費及会計)

第 8 条 正会員は入会の際会費として10,000円を納入するものとする。

第 9 条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、3月31日に終る。

第 10 条 会計決算は総会に於て之を報告する。

第 11 条 会員にして住所身分に移動を生じたる時は必ず本会に通知するものとする。

(支 部)

第12条 本会は各府県に支部を設けることができる。

(改 廃)

第13条 本会会則を変更する時は総会の決議を経ることを要する。

(附 則)

1. 本会会則は昭和16年5月18日から施行する。

第9 淀之水学院 葦水会 近年の年度別決算状況

(単位：円)

収入の部							
項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
前期繰越金	675,169	3,645,018	4,524,906	2,721,895	4,148,811	3,075,090	2,770,868
入会金	2,139,828	2,930,947	3,670,000	3,592,552	3,461,563	2,816,862	2,949,845
総会会費	125,000	110,000	80,000	85,000	62,500	45,000	0
雑収入	50,000	15,000	40,000	15,000	20,000	20,000	3,000
利息	599	882	70	41	51	23	40
積立金一部解約	3,000,599	0	0	0	0	0	0
収入の部合計	5,991,195	6,701,847	8,314,976	6,414,488	7,692,925	5,956,975	5,723,753
支出の部							
項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総会費	361,826	472,700	398,402	461,131	435,535	281,838	0
会議費	24,214	25,939	16,011	31,553	47,930	36,242	0
通信費	733,645	699,338	755,010	772,903	808,505	770,387	740,991
慶弔費	359,266	104,071	476,599	55,000	305,000	326,410	45,000
渉外費	25,000	30,000	27,000	34,000	26,500	24,500	0
激励費	180,000	170,000	230,000	220,000	308,400	160,000	50,000
印刷費	657,584	670,739	686,507	687,598	682,533	583,200	621,500
積立金繰入	0	0	3,000,000	0	2,000,000	1,000,000	0
雑費	4,642	4,154	3,552	3,492	3,432	3,548	1,000,440
支出の部合計	2,346,177	2,176,941	5,593,081	2,265,677	4,617,835	3,186,125	2,457,931
次期繰越金	3,645,018	4,524,906	2,721,895	4,148,811	3,075,090	2,770,850	3,265,822
	0	0	0	0	0	0	0

一般積立金							
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
期首残高	期末残高	期末残高	期末残高	期末残高	期末残高	期末残高	期末残高
7,043,098	4,044,356	4,045,077	7,046,414	7,046,832	9,047,609	10,048,198	10,049,145

第10 淀之水学院 葦水会 近年の決算報告書

平成26年度 葦水会 決算 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)				平成27年度 葦水会 決算 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)					
収入の部 (単位：円)				収入の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
前期繰越金	675,169	675,169		前期繰越金	3,645,018	3,645,018			
入会金	2,130,000	2,139,828		入会金	2,930,000	2,930,947			
総会費	100,000	125,000		総会費	100,000	110,000			
雑収入	30,000	50,000		雑収入	30,000	15,000			
利息	214	599		利息	314	882			
積立金(一部解約)		3,000,599		積立金(一部解約)					
収入の部合計	2,935,383	5,991,195		収入の部合計	6,705,332	6,701,847			
支出の部 (単位：円)				支出の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
総会費	400,000	361,826		総会費	400,000	472,700			
会議費	40,000	24,214		会議費	40,000	25,939			
通信費	900,000	733,645		通信費	900,000	699,338			
慶弔費	150,000	359,266		慶弔費	2,000,000	104,071			
渉外費	40,000	25,000		渉外費	40,000	30,000			
激励費	200,000	180,000		激励費	250,000	170,000			
印刷費	750,000	657,584		印刷費	750,000	670,739			
積立金繰入	0	0		積立金繰入	1,000,000	0			
雑費	10,000	4,642		雑費	10,000	4,154			
支出の部合計	2,490,000	2,346,177		支出の部合計	5,390,000	2,176,941			
次期繰越金	445,383	3,645,018		次期繰越金	1,315,332	4,524,906			
積立金の部 (単位：円)				積立金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
一般積立金	7,043,098	1,857	-3,000,599	4,044,356	一般積立金	0	721	0	721
名簿積立金	0	0	0	0	名簿積立金	0	0	0	0
合計	7,043,098	1,857	-3,000,599	4,044,356	合計	0	721	0	721
会長：	中條伊代子	会計：	木田陽子	森 和美	寄付金の部 (単位：円)				
		会計監査：	久野久恵	参河正太	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
					周年事業寄付金		0	0	0

平成28年度 葦水会 決算 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)				平成29年度 葦水会 決算 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)					
収入の部 (単位：円)				収入の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
前期繰越金	4,524,906	4,524,906		前期繰越金	2,721,895	2,721,895			
入会金	3,670,000	3,670,000		入会金	3,540,000	3,592,552			
総会費	100,000	80,000		総会費	100,000	85,000			
雑収入	15,000	40,000		雑収入	20,000	15,000			
利息	213	70		利息	50	41			
積立金(一部解約)				積立金(一部解約)					
収入の部合計	8,310,119	8,314,976		収入の部合計	6,381,945	6,414,488			
支出の部 (単位：円)				支出の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
総会費	400,000	398,402		総会費	500,000	461,131			
会議費	50,000	16,011		会議費	50,000	31,553			
通信費	1,000,000	755,010		通信費	1,000,000	772,903			
慶弔費	300,000	476,599		慶弔費	500,000	55,000			
渉外費	50,000	27,000		渉外費	50,000	34,000			
激励費	300,000	230,000		激励費	1,400,000	220,000			
印刷費	800,000	686,507		印刷費	800,000	687,598			
積立金繰入	3,000,000	3,000,000		積立金繰入	1,000,000	0			
雑費	20,000	3,552		雑費	20,000	3,492			
支出の部合計	5,920,000	5,593,081		支出の部合計	5,320,000	2,265,677			
次期繰越金	2,390,119	2,721,895		次期繰越金	1,061,945	4,148,811			
積立金の部 (単位：円)				積立金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
一般積立金	0	1,337	3,000,000	3,001,337	一般積立金	0	418	0	418
名簿積立金	0	0	0	0	名簿積立金	0	0	0	0
合計	0	1,337	3,000,000	3,001,337	合計	0	418	0	418
寄付金の部 (単位：円)				寄付金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
周年事業寄付金		0	0	0	周年事業寄付金		0	0	0

平成30年度 葦水会 決算 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)				令和元年度 葦水会 決算 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)					
収入の部 (単位：円)				収入の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
前期繰越金	4,148,811	4,148,811		前期繰越金	3,075,090	3,075,090			
入会金	3,500,000	3,461,563		入会金	3,000,000	2,816,862			
総会費	100,000	62,500		総会費	80,000	45,000			
雑収入	15,000	20,000		雑収入	15,000	20,000			
利息	40	51		利息	50	41			
積立金(一部解約)				積立金(一部解約)					
収入の部合計	7,763,851	7,692,925		収入の部合計	6,170,140	5,956,993			
支出の部 (単位：円)				支出の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
総会費	500,000	435,535		総会費	500,000	281,838			
会議費	50,000	47,930		会議費	60,000	36,242			
通信費	1,000,000	808,505		通信費	900,000	770,387			
慶弔費	500,000	305,000		慶弔費	500,000	326,410			
渉外費	50,000	26,500		渉外費	50,000	24,500			
激励費	1,400,000	308,400		激励費	700,000	160,000			
印刷費	800,000	682,533		印刷費	900,000	583,200			
積立金繰入	2,000,000	2,000,000		積立金繰入	1,000,000	1,000,000			
雑費	20,000	3,432		雑費	20,000	3,548			
支出の部合計	6,320,000	4,617,835		支出の部合計	4,630,000	3,186,125			
次期繰越金	1,443,851	3,075,090		次期繰越金	1,540,140	2,770,868			
積立金の部 (単位：円)				積立金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
一般積立金	0	777	2,000,000	2,000,777	一般積立金	0	589	1,000,000	1,000,589
名簿積立金	0	0	0	0	名簿積立金	0	0	0	0
合計	0	777	2,000,000	2,000,777	合計	0	589	1,000,000	1,000,589
寄付金の部 (単位：円)				寄付金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
周年事業寄付金		0	0	0	周年事業寄付金		0	0	0

平成30年度 葦水会 決算 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)				令和元年度 葦水会 決算 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)					
収入の部 (単位：円)				収入の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
前期繰越金	4,148,811	4,148,811		前期繰越金	3,075,090	3,075,090			
入会金	3,500,000	3,461,563		入会金	3,000,000	2,816,862			
総会費	100,000	62,500		総会費	80,000	45,000			
雑収入	15,000	20,000		雑収入	15,000	20,000			
利息	40	51		利息	50	41			
積立金(一部解約)				積立金(一部解約)					
収入の部合計	7,763,851	7,692,925		収入の部合計	6,170,140	5,956,993			
支出の部 (単位：円)				支出の部 (単位：円)					
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考		
総会費	500,000	435,535		総会費	500,000	281,838			
会議費	50,000	47,930		会議費	60,000	36,242			
通信費	1,000,000	808,505		通信費	900,000	770,387			
慶弔費	500,000	305,000		慶弔費	500,000	326,410			
渉外費	50,000	26,500		渉外費	50,000	24,500			
激励費	1,400,000	308,400		激励費	700,000	160,000			
印刷費	800,000	682,533		印刷費	900,000	583,200			
積立金繰入	2,000,000	2,000,000		積立金繰入	1,000,000	1,000,000			
雑費	20,000	3,432		雑費	20,000	3,548			
支出の部合計	6,320,000	4,617,835		支出の部合計	4,630,000	3,186,125			
次期繰越金	1,443,851	3,075,090		次期繰越金	1,540,140	2,770,868			
積立金の部 (単位：円)				積立金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
一般積立金	0	777	2,000,000	2,000,777	一般積立金	0	589	1,000,000	1,000,589
名簿積立金	0	0	0	0	名簿積立金	0	0	0	0
合計	0	777	2,000,000	2,000,777	合計	0	589	1,000,000	1,000,589
寄付金の部 (単位：円)				寄付金の部 (単位：円)					
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高	項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
周年事業寄付金		0	0	0	周年事業寄付金		0	0	0

令和2年度 葦水会 決算				
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)				
収入の部		(単位：円)		
項目	予 算	決 算	備 考	
前期繰越金	2,770,850	2,770,868		
入会金	3,000,000	2,949,845		
総会費	80,000	0		
雑収入	15,000	3,000		
利息	50	40		
積立金(一部解約)				
収入の部合計	5,865,900	5,723,753		
支出の部		(単位：円)		
項目	予 算	決 算	備 考	
総会費	500,000	0		
会議費	60,000	0		
通信費	1,000,000	740,991		
慶弔費	500,000	45,000		
渉外費	50,000	0		
激励費	700,000	50,000		
印刷費	1,000,000	621,500		
積立金繰入	1,000,000	0		
雑費	1,002,000	1,000,440		
支出の部合計	5,812,000	2,457,931		
次期繰越金	53,900	3,265,822		
積立金の部		(単位：円)		
項目	期首残高	当期積立	当期増額	期末残高
一般積立金	10,048,198	947	0	10,049,145
名簿積立金	0	0	0	0
合計	10,048,198	947	0	10,049,145
会長：	中條伊代子			
会計：	木田陽子	森 和美		
会計監査：	久野久恵	参河正太		

第11 令和元年9月30日 第36号「葦水会報」 抜粋

ご挨拶 学校長 竹下 健治

秋色も次第に深まってきておりますが、葦水会の皆さまには、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より、本校教育活動に対して、ご支援ご理解をいただき、ありがとうございます。

さて、時代も平成から令和になりましたが、本校も新理事長 木村嘉子さんが就任され、新体制で新しい時代の扉を切り拓いていこうと思います。今後とも変わらずのご支援よろしく願いいたします。

一方、悲しい知らせもあります。本校卒業生であります作家の田辺聖子さんが6月6日にご逝去されました。享年91歳でした。田辺さんは、1940年（昭和15年）に本校、淀之水女学校に入学され、女学校4年から樟蔭女子専門学校国文科に進学されました。その後、小説「感傷旅行」で第50回芥川賞を受賞されるなど数々の文学賞を受賞され、1995年（平成7年）に紫綬褒章、2008年（平成20年）に文化勲章を受章されました。大阪弁を駆使しながら、人間の機微を温かくユーモアあふれる筆致で表現されました。田辺さんは文学界の巨匠でしたが、庶民的で、いつも気さくで、田辺さんの言葉や人柄に、どれだけの人たちが人生に前向きになれたか分かりません。

本校の中庭にも田辺聖子さんの石碑があります。そこには「好きな友達がたくさんできて、私は今日もあの子に会えると思うと登校するのが楽しくてたまらなかつた記憶があります。それだけで「学校」というのは存在価値があるのです。（淀川少女より）」と刻まれています。このような楽しい記憶を刻んでいた事を、学校としても大変感謝し、名誉なことと思っております。偉大な卒業生を失った悲しみとともに、皆さまとともにご冥福をお祈りしたいと思います。

先ほども新時代の扉が開かれると申しましたが、令和5年に本校も創立百年を迎えます。この百周年を迎えるにあたり、本校もさらに飛躍していきたいと思っております。本校の教育目標は「For Others～志高く～」です。本校は、社会貢献をめざすコースが多いですが、その前向きな姿勢を伸ばし、自分の使命に気づかせ、生きる姿勢と倫理観を大切にしてほしいと思っております。また、全力で取り組み、「努力は不可能を可能にする。」を体現してほしいと思っております。勉強についても、本年の夏休みは、20日程の夏期講習や進学合宿を行いました。また、部活動でも中学女子ソフトテニス部が全国優勝、高校女子ソフトテニス部が全国3位、中学男子バレーボール部が全国ベスト8（昨年度は優勝）、高校男子バレーボール部が近畿大会ベスト8、新体操部は近畿大会個人3位、個人で国体出場、高校男子柔道部が大阪2部優勝、その他にもスノーボードやボルダリングなどでも頑張ってくれています。

このような上昇気流に乗って、各コース内容をさらに充実させ、新しく進学コースに進学Ⅲ（進学Ⅰ・Ⅱもあります）の文武両道のコースを設置します。そのために城山キャンパスの体育館やグラウンドを施設整備します。また、ビジネスコースにITフロンティアコースを加えビジネス・ITフロンティアコースとします。このコースでは、実際にメディア発信し、具体的な体験やワークショップでITスキルを身につかせます。

創立百周年には、新しくなった学校を見ていただき、青春期に共に学んだ葦水会の皆さまとともにお祝いしたいと思っております。令和新時代も皆さまの本校への、ご理解とご支援の方よろしく願いいたします。

第12 令和2年10月1日 第37号「葦水会報」 抜粋

ご挨拶 学校長 竹下 健治

秋色が次第に深まってきておりますが、葦水会の皆さまには、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校教育活動に対して、ご理解ご協力を頂きありがとうございます。本年は異例の年となりました。コロナ禍で、多くの人々が感染し、生活の様式も一変しました。葦水会の皆さまにおかれましても、くれぐれもご自愛ください。

さて、本校もコロナ禍で入学式が中止となり、4、5月は臨時休業となりました。6月より分散登校が始まりましたが、感染予防の三密対策で授業内容や学校行事等でも大きな変更がありました。文化祭や体育大会も中止としました。全国的に見ても、国民体育大会も中止、春・夏の甲子園も中止となり、甲子園は戦争以来の中止となります。本校の部活動においても大会が中止となり、最終学年の生徒には、言葉のかけようのない悲しい思いをさせました。

しかし一方で、新しい社会変革への好機でもあります。グローバル社会への適応が遅れた日本は経済的に昔日の輝きはありませんが、その日本であっても、オンライン会議やオンライン授業をはじめネットによる社会の広がり、より強くなっています。ようやくネット社会に対して腰が重かった日本でも動き出しました。

本校もコロナ禍に関係なく、本年度より新時代に向けて「SHOYO2020」として改革を行っています。まず、進学コースを進学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコースへ、ビジネスコースをビジネス・IT フロンティアコースへ改編しました。進学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコースとは、進学Ⅰ（通常進学）進学Ⅱ（アスリート進学）進学Ⅲ（文武両道）ということです。特に、進学Ⅲコースのために、大阪府豊能郡豊能町の城山キャンパスに人工芝グラウンドを設置しました。都心にある本学キャンパスと里山にある城山キャンパスとの2つのキャンパスを往来しながら、違う環境で教育活動を行います。環境が変われば気持ちも変わります。時間を有効に使いながらメリハリのきいた教育ができるのではないかと思います。城山キャンパスは夏季休業中も使用しましたが、自然豊かな中、都心より気温が数度低く、たいへん快適であると喜んでいました。一方、ビジネス・IT フロンティアコースの方では、このコースのために本学にIT教室を新設しました。現在、日本では数十万のIT人材が不足していると言われます。これからの社会を生き抜くためにも、IT技術習得は絶対必要です。現在、レゴロボットを動かすなど、出来るだけグループワークを取り入れた、主体的で思考力を育てる授業内容にしております。

また、他のコースも実績を残しています。昨年度卒業生では学校斡旋就職率100%であり、大学進路実績も上昇し、福祉コースの介護福祉士国家試験にも約80%の生徒が合格しました。部活動も生徒の加入率が上がり、学校全体が熱気で溢れています。生徒たちが本気で頑張れる場所、輝く事のできる場所を用意し、高校生活を謳歌してほしいと思います。

そして、本校も2024年に創立100周年を迎えます。本校は、激動な時代を乗り越えつつ100年の地歩を築いてきました。これからも、皆さんに信頼される学校づくりに邁進して参ります。本校発展のためにも、葦水会の皆さまのご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。